

小笠原中学校

学校だより

第8号
12月

平成30年12月3日(月)
小笠原村立小笠原中学校
校長 新妻 茂
<http://www.ogachu.que.ne.jp/>
<https://www.facebook.com/ogasawara.jhs>

少年の主張全国大会（人権週間に寄せて）

校長 新妻 茂

11月11日に国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、「第40回少年の主張全国大会～わたしの主張2018～」が開催され、12名の中学生が“わたしの主張”を発表しました。これには秋篠宮佳子内親王も出席されました。内地出張中であつた私も出席させていただきました。

今年の「少年の主張」には全国で約55万人の参加者がありました。東京都では「中学生の主張」として6878人が応募しました。この中には本校の4名も含まれています。事前審査で10名が選ばれ「中学生の主張」東京大会が9月9日に都庁で行われました。ここで東京都代表が選ばれ、関東・甲信越静岡ブロック大会に出場し、この中から3名が全国大会に出場することになりました。

今年、内閣総理大臣賞に輝いたのは山形県代表・天童市立第三中学校3年の岩淵礼姫（いわぶちあやめ）さんです。「人生を駆け抜ける」と題して、体験を通じて学んだ思いやりや個性を尊重する大切さを訴えました。

岩淵さんは中学に入学して間もなくいじめに遭って休みがちになりました。「死ぬしか逃げ場がない」と追い詰められます。そんな中、悩みを聞いてくれた母や注意してくれたクラスメイト、先生のおかげで「独りじゃない。心を閉ざさず自分を表現していい」ことに気づき、一歩前に踏み出すことができましたと言います。クラス替えなどをきっかけに、学校が楽しく安心できる場所が変わったと言います。最後のところでは、いじめに関わる「見ている人」「している人」に対しては「あなたの行動は相手の命を奪うことがあるかもしれないと気付いて欲しい」と主張し、「されている人」特に苦しんでいる人へ「死んでしまったら、どれだけたくさんの方が悲しむか考えて欲しい。あなたのたった一つの尊い命を投げ捨てないで欲しい」と涙ながらに訴えました。そして、たくさんの人に支えられ、助けられた命を大切に、自分らしく幸せになるため、私は私の人生を駆け抜けると力強く主張しました。

岩淵さんは受賞後の地元・山形新聞の取材に応じ、「当時の悔しさが込み上げた。涙に気持ちを乗せて思いつき表現でき、よかったかな」と振り返り、「当時の自分に胸を張れる結果でうれしい。次は助ける側になる」と語っています。

ここ数年の傾向を見てみると、いじめやSNSを介した誹謗中傷の体験、自分や家族の障がいについて考えたこと、自分の身の回りの外国人について考えたこと、震災や水害その他の災害を経験して考えたことなどが多いようです。それらの課題を通して感性や広い視野と柔軟な発想、創造性などを高め、さらに論理的に考える力や自分の主張を正しく理解してもらう力を身につけることが期待されています。これらは人権課題を克服するためにも必要なことです。

今年、本校で「中学生の主張」に応募したのは4名ですが、来年は何名の生徒が応募してくれるでしょうか。楽しみにしています。

人権週間 12月4日から12月10日まで

12月の主な行事予定

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 3日(月) 2年職場体験～5日(水)まで | 18日(火) 母島中との生徒会交流会 |
| 4日(火) 三者面談～18日(火)まで | 19日(水) お弁当の日 芝生の日 3年租税教室 |
| 5日(水) 芝生の日 | 23日(日) 天皇誕生日 |
| 7日(金) いじめ対策学校サポートチーム協議会 | 24日(月) 振替休日 |
| 12日(水) 避難訓練 | 25日(火) 終業式 大掃除 |
| 16日(日) PTA餅つき大会 | 26日(水) 冬季休業日～1月7日(月)まで |
| | ※1月8日(火) 始業式 |

学習発表会（合唱・吹奏楽）

全校吹奏楽～3年生の力、全校の力～

保護者の方、地域の方にお会いした時、何人もの方が足を止めて「今年の吹奏楽はとても良かった」「感動しました」などと声をかけてくださいました。生徒達の練習の成果が発揮できたんだな、思いが客席に届いたんだな、と受け止め、素直に嬉しい気持ちになりました。

吹奏楽の授業では、【誰でも必ず上達すること】【上達したら楽しくなること】【みんなで上達したらもっと楽しくなること】を体験的に学びます。また、【道具（楽器）を大切にすること】や【周りとのコミュニケーション】なども求められ、少しずつ身に付いていきます。生徒達は、これらの一つ一つを大切にすることで、島の人たちの心に届く演奏ができたのだと思います。

1年生は「音が鳴らない」「指や口が痛い」「息が切れる」から始まり、そこから15回ほどの授業で本番でした。2、3年生はそれよりも少ない授業時数で2曲を仕上げました。改めて、中学生の可能性やチームワークのすごさを実感します。これからも、多くの人に楽しみにしていただける演奏を目指していきたいと思います。これからも応援、よろしくお願いします。

全校合唱～等身大の思いを表現～

候補曲の中から3年生が投票して曲を決めました。もともとNコンの課題曲だけあって、曲の難易度としては決して易しくなく、歌詞の内容から言っても3年生向けの楽曲です。授業では吹奏楽を行っていて、合唱の時間が作れないので、練習は全て昼休みです。パート練習を重ね、曲に慣れてから合唱の練習に入ります。昨年度の反省を生かし、パート練習の回数や時間を増やしましたが、ソプラノ11人、アルト11人、男声32人と、男子パートは女子パートの3倍の人数なので、男女のバランスが良いとは言えません。そこで、音量バランスとハーモニーを優先させて合唱づくりをしてきました。

体育館での発表は、声量がやや物足りないところはありませんでしたが、1番と2番の「僕」の立場の違い、後半の英語の歌詞の表現など、練習の成果は発揮できたと思います。今後は、合唱の土台をさらに固めて、表現の幅を広げていくこと、男女バランスへの対応などが課題です。

学習発表会（3学年）～40分の番組作り～

3学年学級担任

修学旅行実行委員会の中で、「学習発表会で見学地の魅力を十分に伝えるために、映像を入れたい」という話題があがりました。見学や班行動をしながら、たくさんの写真や映像を準備し、いよいよ制作会議。伝えたいことは、「見学地の魅力」「実際に感じたことや学んできたこと」「長い修学旅行の楽しさ」を柱として、映像とスライドでまとめていくことになりました。スライド班は、マイクロソフトで教わったテクニックを意識。文字の色やアニメーションを最低限にし、シンプルな言葉で発表することができました。映像編集班は、発表時間を越えないように、見づらくないように、編集会議を何度も行って修正を重ねました。生徒達が自分たちで考え、完成させた今回の発表は、彼らの仲の良さやそれぞれのセンス、チームワークなど、様々な面を見せてくれました。あと3ヶ月ほどで卒業です。中学校生活も残りわずかですが、温かいサポートをよろしくお願いします。



学習発表会（2学年）「This is 硫黄島」

2学年学級担任

2年生は夜明山戦跡調査や硫黄島訪島事業など、校外学習で戦争と平和について多くのことを学び、考えてきました。2年生で実行委員会をつくり、発表に関しては生徒達に自主的に考えさせました。何を伝えるのか、どのように伝えるのか。考えることとやることの多さに苦戦しながらも、最後までやりきりました。生徒には学習したことだけでなく、気持ちを大切にしたいとお願いしました。戦争に関わった人達の気持ち、硫黄島に関わっている人の気持ち、学習した自分たちの気持ちなど、様々な立場の人のことを考えて、言葉を大切にしている様子でした。特に印象的だったのは、発表の最後にあった実行委員長の言葉です。〇〇さんが涙ながらに語ったクラスメイトへの言葉が、2年生の成長の証だと感じました。教職員へ向けたサプライズの言葉も心を打たれました。私が思っている以上に、生徒達自身で成長をしているように感じた学習発表会でした。

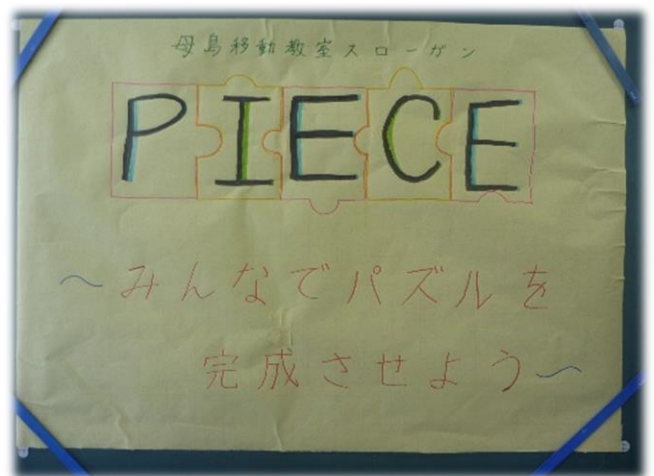
多くの保護者や地域の方に参観していただき、また総合的な学習の時間の授業においても協力していただきました。ありがとうございました。

学習発表会（1学年）～PIECE～

1学年学級担任

1年生の発表では、母島移動教室から通して掲げてきた『PIECE～みんなでパズルを完成させよう～』のスローガンをどのようにしたら実行できるのかを考えました。そこでたどり着いた答えは、「ひとりひとりが自分の調べたことをきちんと覚え、堂々と発表し、それをつなぎ合わせる」ということでした。その気持ちをひとつにして、準備段階から必死に取り組んだ1年生の生徒全員が、本番で立派に発表している姿を見て、とても感動しました。見ていただいた皆様に、中学生になって成長したなと思っていただけていたら幸いです。

楽しくて、にぎやかな学級ではありますが、これからも1年1組生徒19名を温かく見守ってください。ありがとうございました。



保育実習

家庭科

11月14日（水）本校3年生が父島保育園にて、保育実習を行いました。事前の授業では幼児の特徴や発達段階についての学習、保育実習に臨むにあたって遊びのシミュレーションや、ロールプレイなどを行いました。また、幼児用の絵本も製作し、当日持参しました。

当日は3歳、4歳、5歳児の3つのクラスに分かれて、1時間半ほど幼児と遊び、その後昼食を外で一緒に食べました。最初は戸惑う様子も見られましたが、だんだんと打ち解け、一緒に楽しく過ごすことができました。幼児の理解を深めるだけでなく、自分の小さい頃を思い返したり、人とのつながりを感じたりすることができたのではないかと思います。

お世話になった父島保育園の皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。

小笠原小学校・中学校 開校五十周年記念式典を終えて

中学校50周年行事委員

11月17日(土)に小中学校体育館にて、小笠原小学校・中学校開校50周年記念式典を挙行了いたしました。多くのご来賓、保護者、地域の方々にご出席いただき、盛大に執り行うことができました。ご臨席いただきました皆様、ありがとうございました。

式典は、2部構成で行いました。2部では、小学校は開校50周年記念歌「笑顔の思い出」、中学校は全校吹奏楽「Legend Of The Eagles」の演奏を披露しました。小学生の元気いっばいな歌声と、中学生の凜とした演奏で、50周年に華を添えることができました。

記念品には、小笠原村教育委員会より子どもたちにタンブラーとクリアファイルを、PTAからは運動会用のテントを寄贈していただきました。

私は50周年行事委員の一人として、記念誌の作成に携わりました。村長をはじめ、皆様からのお祝いの言葉、今と昔の中学校の様子、50周年記念行事の様子、在校生のメッセージなどを1冊にまとめました。執筆者の皆様、印刷業者の皆様、ご協力ありがとうございました。

過去4冊の記念誌を何度も読み返し、今の私のように10年後、20年後、50年後・・・と、記念誌を編集する人がいると思うと、「今」の仕事が「未来」につながっており、子どもたちの「今」も「未来」につながっているのだと強く感じました。

アメリカから返還され日本の領土となった小笠原に、学校という教育の場があること、子どもたちの元気な声が響くということ、それが「未来」に続くことを願い、「今」できることを精一杯果たそうと決意を新たにしました。

開校50周年という歴史の1ページに携われたことを、子どもたちと一緒に誇りに思い、また未来へと続く1ページを書き進めていこうと思います。

今後とも小笠原中学校へのご支援・ご協力の程、よろしくお願いいたします。



避難訓練

担当

11月9日(金)に村の防災訓練に合わせて中学校でも、避難訓練を行いました。村の防災訓練の発災時刻と同時に避難を開始し、より高い津波を想定して、大神山公園まで避難しました。生徒達は、日差しが照りつける

中の避難となりましたが、きちんと二列に並びながら避難をしていました。今後も普段の訓練から本番を想定して行動することを心がけて欲しいと思います。



お知らせ

- 小笠原中学校の生徒が各方面で活躍しています。ここに紹介します。
- 検定合格者を紹介します。

【未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール展示会】

父島・母島の小中学校の児童・生徒が「未来に残そう青い海」をテーマに小笠原の海を描きました。作品が展示されますので紹介します。

【展示内容】

平成30年度小笠原海上保安署「未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」
図画作品 52点

【展示期間・場所】

- 1 期間：平成30年12月1日から平成30年12月16日
火～土曜日 午前9時～午後9時
日曜日、祝日 午前9時～午後5時
場所：地域福祉センター（休館日 月曜日）
- 2 期間：平成30年12月20日から平成31年1月4日
平日 午前8時～午後5時
（おがさわら丸入港中は土日もご覧になれます。）
場所：母島沖港船客待合所
- 3 期間：平成30年11月21日から平成31年1月11日
場所：おがさわら丸船内エントランス液晶モニター